



HARBETH

HL Compact 7ES-3

¥173,250 (1台)

●型式:2ウェイ(バスレフ) ●ユニット:200mmウーファー、25mmトウィーター ●周波数特性:48Hz~20kHz(±3dB) ●能率:86dB ●インピーダンス:8Ω ●クロスオーバー:3.3kHz ●サイズ:271W×520H×315Dmm ●質量:12.5kg ●取り扱い:エムプラスコンセプト

Profile ハーベスはBBCモニターの流れを汲むイギリスの歴史あるスピーカーブランド。前モデルの完成度をさらに高めるべく、ウーファーユニットに新技術RADIAL2を投入。専用の成型技術により、堅牢なポリプロピレンをベースに、それぞれの周波数帯域に最適な特性を持つポリマーをブレンド、収縮性に富んだエッジと組み合わせることにより、自然な再現性を獲得する。

歴史あるブランドの伝統的な音作り 現代に適したヴィンテージサウンド

試聴ソフト別 マッチング

石原 俊



analog

相性 ★★★★★



Net Audio

相性 ★★★★★



CD

相性 ★★★★★

小林 貢



analog

相性 ★★★★★



Net Audio

相性 ★★★★★



CD

相性 ★★★★★

アナログプレーヤーをソース機器とすると、非常にまろやかなサウンドが得られる。その聴き心地はあたかも夢のようで、これぞアナログといった雰囲気にはたることができる。現代を基準にすると、音楽的にもオーディオ的にも明晰とはいえないが、これはこれで味わい深い。ただし、フォノカートリッジを古典的なモデルに変更すると、別の意味で音楽的分解能が高くなるだろう。一方、ネットオーディオとの組み合わせでは整合性のとれたサウンドが楽しめる。とくにハイレゾデータのサウンドは非常に興味深い。というのも、先ほどのようにアナログ再生がうまくいった時のハーベスの振る舞いを思わせるようなサウンドが出たからである。昨今は古めの名録音が高レゾ化されているので、ハーベスのオーナーはぜひともネットオーディオに挑戦していただきたい。

アナログプレーヤー再生では、ウッドベースの空気感や、キックドラムの音圧感がリアルさが増す。神成氏の録音による「ミスティ」が、70年代半ばに多くのオーディオファンに支持された事が再認識できた。と同時に試聴に使用したのは様々な手法の高音質ディスクが数多く輩出された70年代後半にリマスタリングした45回転ディスクだが、この時代のアナログプレーヤーが究極的といえるほどのクオリティに達したことも確認できた。本機のベースモデルがアナログディスクの爛熟期といえる70年代後半に生まれたことは単なる偶然ではないように思える。それでいてネットオーディオにおいても、そのメリットが十分に発揮されデジタル録音の「ザツツ」では、鮮度感の高まりや細部を明晰に引き出す解像度の高まりが正確に反映されたように思う。